

ボランテティア活動にさんかして

小三

わたしは、ガールスカウトのボランテティア活動の中で、一人の女せいに出会いました。その女せいが目の見えな人だと聞いてきんちようしましたが、その人のために何かしたいと思いました。その人といっしょに、もうどう犬のぼ金活動や、もうどう犬といっしょの十五キロハイクにさんかしたことがあります。はじめ、わたしはもうどう犬という言葉を知らず、どんな犬で、どんな仕事をするのかも知りませんでした。

私が出会った女せいのもうどう犬は、

シェパードというしゆるいのとても大きな白色の犬です。わたしは、犬を家でかったことがなく、犬とふれ合う機会があまりなかったので、はじめは、その大きさにとてもおどろき、少しこわかったです。しかし、その犬はとてもしずかで、決してわたしにほえることも、かみつくこともありませんでした。

女せいは、両方の目が見えませんが、女せいに、もうどう犬はどんな仕事をするのかを聞きました。すると、「もうどう犬はね、目の見えない人や見えにくい人が、行きたいときに行きたい場所へ出かけられるように、かいだんを使うときや道を曲がるとき、しろうがい物をさけて、安全に

歩くためのお手伝いをしてくれる犬
なのよ。」

と教えてくれました。

もうどう犬は、女せいといっしよに
お店の中に入ることやバスや電車に乗
ることができません。

わたしは、女せいともうどう犬と
いっしよに、バスに乗る体けんをさせ
てもらいました。バスの中では、とて
もおとなしく、しずかにゆかにすわっ
て、女せいによりそっていました。も
うどう犬には、ハーネスという、仕事
をするための道具がつけられています。
ハーネスをつけている間は、仕事モー
ドでしせいもよくなり、ハーネスを外
すとふつうの犬と同じように、あまえ
たり、おもちゃで遊んだり、走り回っ

たりします。もうどう犬にとってハー
ネスは、仕事とそうでないときのくべ
つをつける、とても大切な道具である
ということをや女せいから教わりました。

もうどう犬のことをよく知らないとい
きは、大きな犬でこわいなと思ってい
ました。しかし、もうどう犬は、とて
も頭がよく、おとなしくて、ハーネス
をつけている間と外しているときでオ
ン・オフができ、とてもすごい犬だ
とあらためて思いました。

もしこれから、町の中で、もうどう
犬を見かけたら、まずハーネスをかく
にんします。ハーネスがついていると
きには、急に声をかけたりさわったり
しないで見守りたいと思います。

わたしは町の中で、つえを使って歩

いている目の見えない人を見かけたこと
とがありました。その人は一人で、全
部やっっているんだなと思ったら、わた
しはその人のために、何かできること
をしたいと考えるようになりました。
わたしが、目の見えない人のもうどう
犬になつて、できることがあればして
いきたいと思えます。